

- ◆ 東北大学は、目利き力により地域企業の事業イノベーションを支援する金融機関等の人材を育成するため、「地域イノベーション・アドバイザー塾(RIAS)」を平成27年度に開設し、28年度には受講者の範囲を被災3県から東北6県に拡大。
東北財務局は、同講座の開設を支援してきたほか、同講座の塾生募集にあたり、RIAS事務局に当局管内金融機関の窓口を紹介するとともに、管内金融機関に同講座への参加を呼び掛けるなどの支援を実施。同大学と引き続き連携して、管内金融機関による同講座の受講を促し、地域企業の事業イノベーションを支援する。

1. 成果事例の概要等

- 東北大学大学院経済学研究科では、平成24年度から、地域企業の事業イノベーション能力の向上により高成長企業へと飛躍させるため、地域企業向けに「地域イノベーション・プロデューサー塾」(RIPS: Regional Innovation Producer School)を開設。
- 27年度からは、金融機関等の目利き力の向上による将来性のある高成長企業の発掘と支援力の向上を図るため、地域金融機関職員等向けに「地域イノベーション・アドバイザー塾」(RIAS: Regional Innovation Advisor School)を開設。
27年5月からベーシックコース(革新的事業の目利きができて経営者を支援できる人材を育成)、同年10月からアドバンスコース(革新的な事業計画の立案・作成等の高度な支援力を有する人材を育成)を開講。
更に28年度からは、対象者を被災3県(岩手県、宮城県、福島県)から東北6県の地域金融機関職員等に拡大。
- 同大学では、RIPS・RIASの両講座により、事業イノベーションによる高成長事業を創出し、地域経済の活力再生と雇用機会の拡大を目指している。
- 同大学における産学官金連携型の地域イノベーション推進事業は、宮城県総合戦略に資する事業とされているほか、26年度補正予算「地方創生先行型交付金」の対象事業となっている(27年11月、交付額:1,750万円)。

3. 今後の課題と東北財務局の対応

- ◀今後の課題▶
- 地域金融機関職員等による東北大学「地域イノベーション・アドバイザー塾(RIAS)」の受講を拡大するとともに、卒業生を含めた地域金融機関等が地域企業の事業イノベーションを支援し、地域経済の活性化等を図っていく。
- ◀今後の東北財務局の対応▶
- 引き続き同大学と連携し、管内金融機関職員によるRIAS受講を促すほか、「東北地域イノベーション推進コンソーシアム」におけるイノベーション推進策の企画・検討への参画、管内金融機関に対して地域企業の事業イノベーション支援など地域経済活性化に向けた取組を促すなどしていく。

2. これまでの取組の成果等

- 東北財務局は、「地域イノベーション・アドバイザー塾(RIAS)」の開設を支援してきたほか、同講座の塾生募集にあたり、RIAS事務局に当局管内金融機関の窓口を紹介するとともに、管内金融機関に同講座への参加を呼び掛けるなどの支援を実施。
27年度は、ベーシックコース25名、アドバンスコース7名の卒業生を輩出し、卒業生では、卒業生が農業・観光等の業界研究の成果を発表。
28年度は、ベーシックコース(5~7月)は32名が受講し、アドバンスコース(9~11月)はベーシックコース修了者から10名程度を募集予定。
- 東北大学は、27年8月、産学官金などが連携して地域企業のイノベーションを推進するため、「ヒト・モノ・カネ・情報+連携」に関する支援策を企画・検討・推進する「東北地域イノベーション推進コンソーシアム」を設立。当局(理財部長)は構成メンバーとして参画。
- 当局は、同大学と地域貢献活動における包括的連携協定を締結している(25年11月)ほか、財務局長が同大学経済学部運営諮問会議の委員に就任。同大学の教育、研究等に関して提言・アドバイス等を行うことで、産学官金の連携支援を含め、地域イノベーション支援を行っている。

